

2008/4/25

「遠隔医療の推進方策に関する懇談会」第3回会合

沖縄における遠隔医療支援の知見

沖縄県立中部病院医療情報科

久島昌弘

OCH Medical Informatics

沖縄県立中部病院

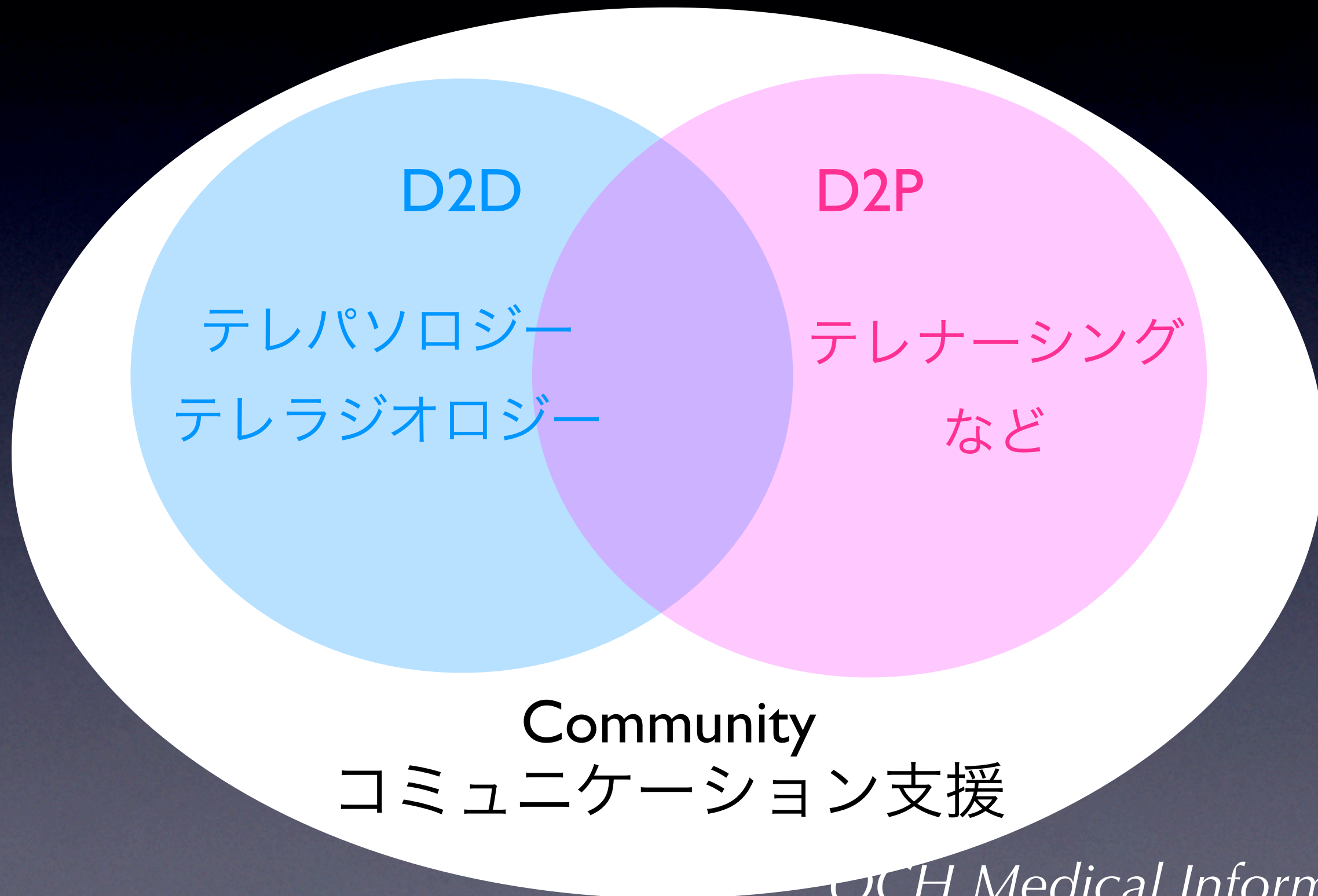
- 臨床研修制度
 - 1967以来40年間、ハワイ大学提携の米国式初期研修
 - 内科・外科・小児科・産婦人科・麻酔科・救急の全科研修
- 救急：24時間365日
 - たらい回しなし
 - 「風邪から緊急心臓手術まで」全部診る
 - 「最後の砦」
- 離島医療支援
 - 修了生が離島診療所へ赴任

Go Practical

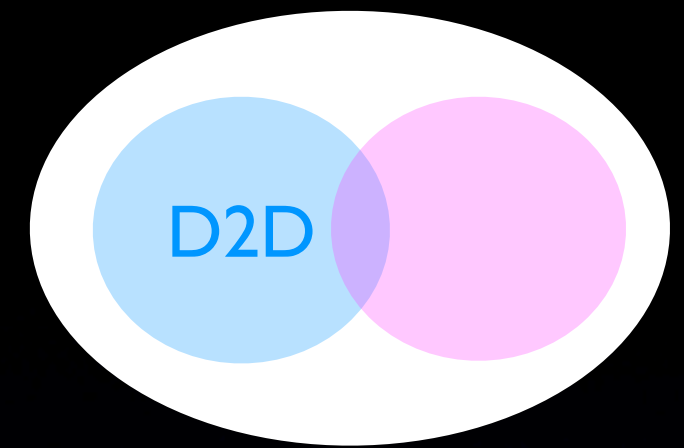
- ハイテク実験の話ではない
- 運用していく仕組み・ニーズ
- 上記の枠組みで現況の知見と展望を
プレゼンする

現況と知見

三つのパラダイム

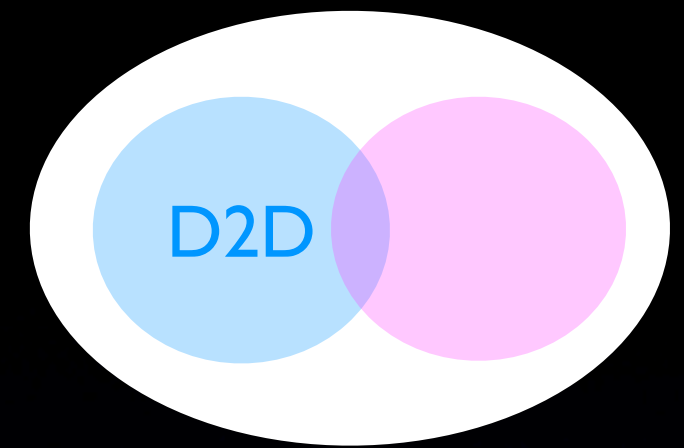


D2D:テレパソロジー



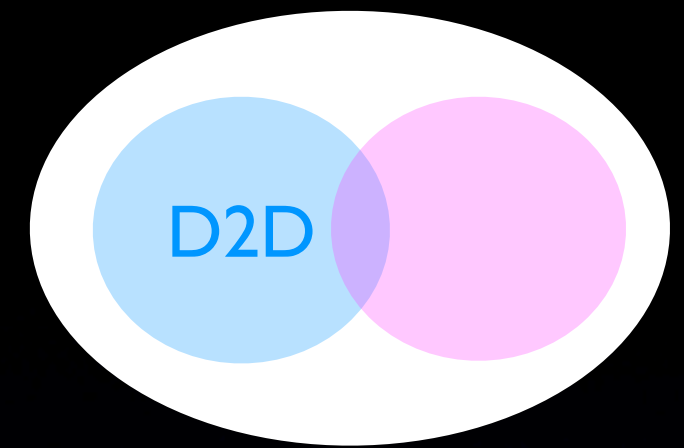
- 対宮古病院：総務省（～今年）
- 対八重山病院：独自のクローズドネット契約
- 術中凍結切片のみ
 - 手術中、今すぐ良性か悪性か結論を要する
 - 診断に要する時間：ローカル作業の5～10倍：通信が遅い
- 各施設年間20程度
 - 病理医がいないところで手術するには必須
 - なければ患者に海を渡らせることに...
- 病理医ディスカッションネット：あまり動いていない
 - 難しい症例を偏りの起こらないように写真を撮って提示する労力
 - 一部の写真のみを見ても判断意見がどこまで重視できるのか...

D2D：テレラジオロジー



- システムはあるが現在は止まっている
 - 現在は相手先に放射線科医師がいる
 - 宮古
 - 八重山
- 読影受け側の負担大きい
 - 念入りな読影：30件/日（1件15～20分）
- 人を送った方がバリューが高い
 - 初期研修2年+認定医2年+専門医2年
 - 人は現場で手技もディスカッションもできる
- ビジネスベース（読影サービス）
 - 過当競争気味？：報酬、品質

D2D:ビデオカンファレンス



- 遠隔講義：拠点での講義を離島診療所へ配信
 - 中部病院の研修医向けコアレクチャー
 - 昼食時に毎週5回ほぼ通年
 - ハワイ大学ビジターの講義
- 通信帯域が狭くて困っている
 - 動画なのに静止画に近い
 - 音声さえ途切れる